

リモートアンテナ

デジタルワイヤレスシステムのパフォーマンスを最大限に発揮させるには、システムのインストールやイベント、ツアーなどアプリケーションを問わず最善の運用方法についての知識やノウハウを、適切に実行することが重要です。それにより、現場で多くのワイヤレスチャンネルが必要な場合にも、1システムのみが必要な場合も、使用するワイヤレスシステムの能力を最大限に活用できます。以下に紹介する方法により、Line 6デジタルワイヤレスシステムのパフォーマンスをフルに発揮させてください。



デジタルワイヤレスシステム
XD-V75 Series

アクティブアンテナ

アンテナのカバー範囲を最適な状態に維持するには、アンテナをワイヤレスレシーバーの筐体から離れた位置にマウントすることが必要な場合もあります。Line 6は、リモートアンテナとして指向性を持つP180、無指向性のP360の2種類のオプションがあります。



Line 6 P180指向性アンテナ



Line 6 P360無指向性アンテナ

指向性を持つアクティブアンテナP180は、ステージ上のトランスミッターから精度の高い受信が必要な場合に適しています。無指向性のアクティブアンテナP360は、たとえばオーディオエンスマイクなど、より広い空間で使用するトランスミッターからの受信に推奨します。

アンテナの向き

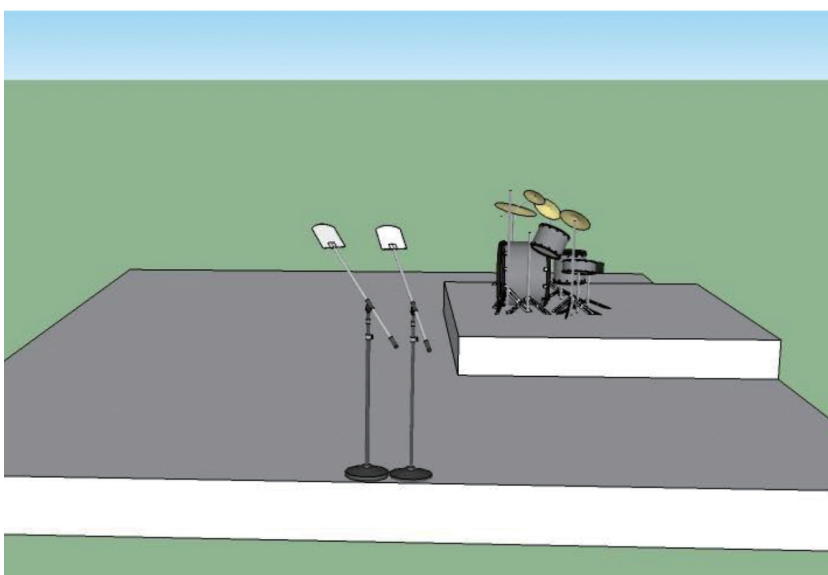
セットアップの際、P180指向性アンテナをブームマイクスタンドにマウントし、パフォーマーやそのパフォーマーが動き回るエリアを狙い、パドルを下向きに傾けるのがベストです。両アンテナは近い位置に配置してカバー域をできるだけオーバーラップさせることで、冗長性を確保すると共にシステムに搭載されているダイバーシティ機能を活用できますが、それぞれのアンテナを最低12.5cmは離してください。以下、代表的な配置例を紹介しています。

動き回るトランスミッターのカバー

動きまわることが多いトランスミッター1台をカバーするには、できるだけそのトランスミッターに近いステージ脇に2基のリモートアンテナを配置して、トランスミッターに向けて下向きに狙い、移動するかもしれないステージのもう一方までカバーするよう、わずかに外向きにします。

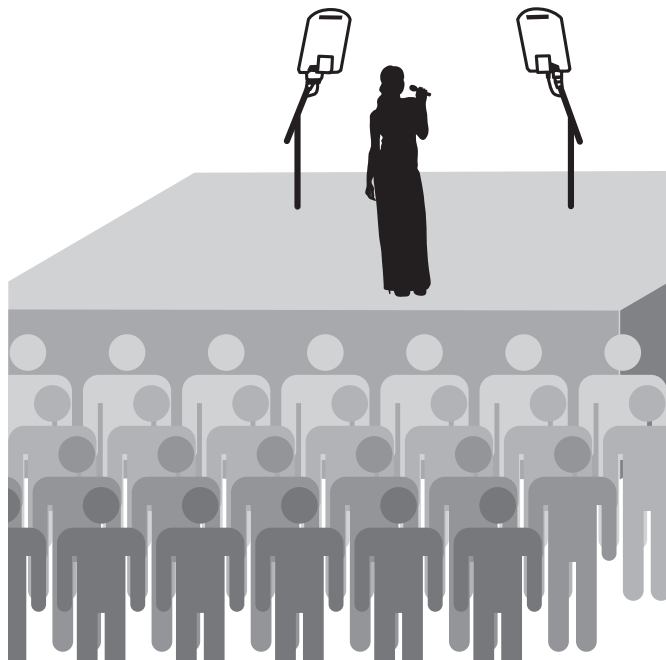
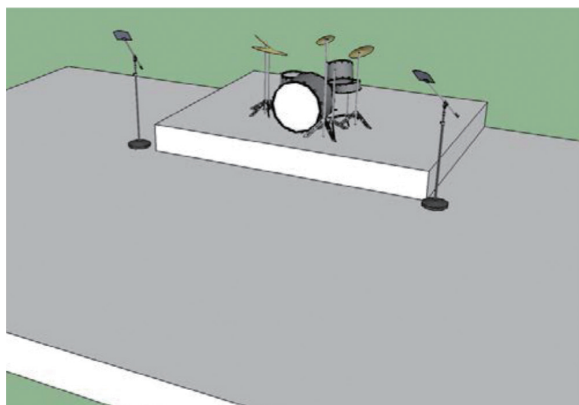
右の写真はトランスミッターに向くようにマウントされたリモートアンテナを横から見たところです。

リモートアンテナがトランスミッターに向くように設置したステージの状態は、以下の図のようになります。



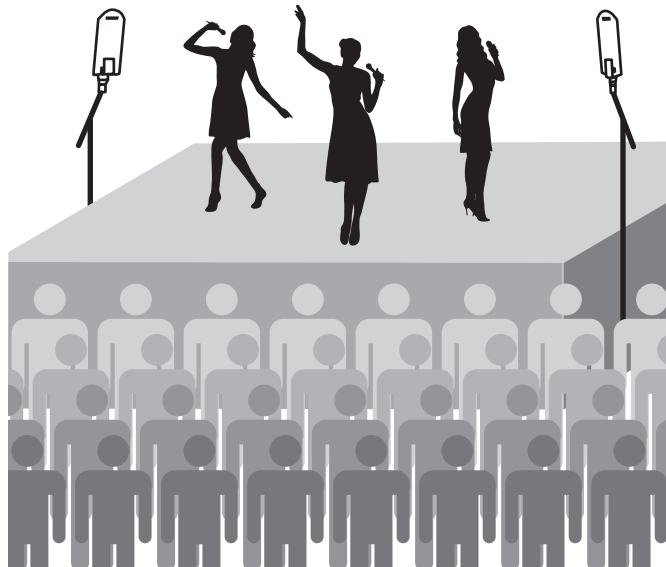
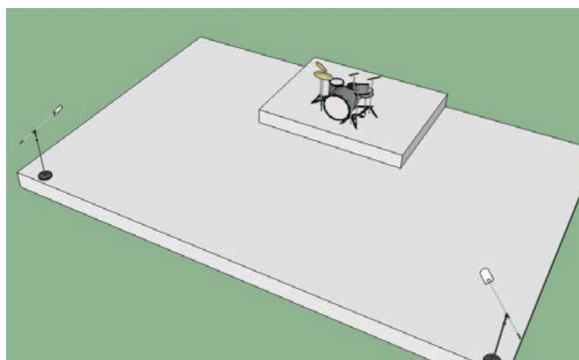
あまり動きまわらないトランスミッターのカバー

あまり動きまわらないトランスミッター1台をカバーするには、ドラムセットの両側に2基のリモートアンテナを配置し、シンガーのマイクに向けて下向きに傾けて、メインシンガーの場所と、そのシンガーが移動する可能性のある場所もカバーするよう、わずかに内向きにするといいでしょう。



複数のパフォーマーのカバー

アンテナディストリビューターXD-AD8とリモートアンテナを使用して、複数のパフォーマーをカバーします。2基のリモートアンテナは、パフォーマーへ向けてステージの両サイドに配置するといいでしょう。

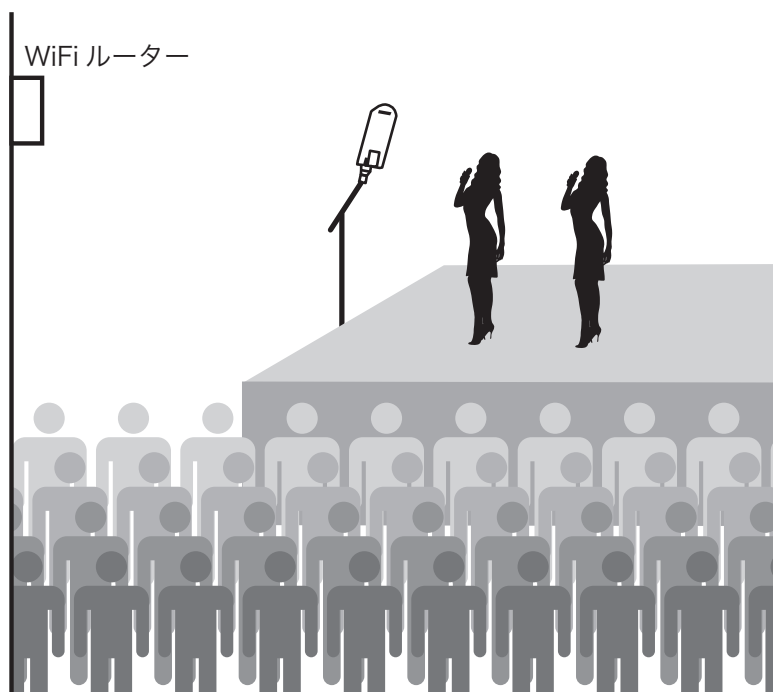


以上のイラストは、あくまでも一般的な推奨設定を示したものです。どの場合にも、必要なカバーエリアを歩きまわってチェックするウォークテストを行い、パフォーマンスをチェックすることをお勧めします。わずかな調整でも、大幅に改善される場合があります。またアンテナパターンは、特定のエリアにおける受信と干渉の両方を考慮して選択してください。

アンテナの高さとアングル

電波の反射を最小化するため、リモートアンテナは最低でも床から90cm以上の高さ、オーディエンスの頭より上に設置するのが理想ですが、極端に上げたり、天井に近づけ過ぎたりしないよう注意してください。アンテナを高く上げすぎると、カバーするパフォーマーからの距離は遠くなり、不要なシグナルを拾いやすくなります。アンテナを適切な高さに設置することで、ワイヤレスシステムのカバーエリアが最大化されます。

ここで目標にするのは、アンテナを干渉ソースから遠ざけつつ、できるだけパフォーマーへ近づけることです。例えばパフォーマーがいる部屋の壁や天井にWiFiルーターがマウントされている場合、WiFiルーターから離れた場所に置いた指向性アンテナでパフォーマーを狙ってください。



アンテナディストリビューター

Line 6はアンテナディストリビューターXD-AD8も用意しています。このシステムにより、最大8台のレシーバーが1つのペアのアンテナを共有できるため、複数ワイヤレスシステムのコンフィギュレーションにも高い自由度が生まれます。ラックマウントワイヤレスシステムはセットアップも簡単で、ワイヤリングも整理されます。またXD-AD8から最大8台のレシーバーへ電源供給も可能です。

